

キャリア教育について

小・中学校の職場体験学習にご協力を

曾於市教育委員会学校教育課

覇気に満ち、 常に夢実現にチャレンジする 児童・生徒の育成

I キャリア教育とは

現代社会が抱える様々な問題点（ニートやフリーターの急増など）の解決に向け、児童生徒一人一人に望ましい勤労観、職業観を育てる教育です。



II キャリア教育を通じた教育的効果

1 発達段階に応じたキャリア教育

小学生の体験学習や中学生の職場体験学習を推進することで望ましい勤労観、職業観を育てます。

2 職場体験学習5日間実施の意義

5日間という長さにより、生徒の中にも心の葛藤が現れます。

緊張の1日目、仕事を覚える2日目、慣れる3日目、考える4日目、感動の5日目……。

人とふれあう時間の長さが生徒一人一人の心に変容を与えます。

ある体験受入先の方がこんな感想を述べていました。「3日やれば仕事の楽しさがわかる。5日やれば本当の仕事の大切さや厳しさがわかるよ」と。

III 本市のキャリア教育の課題

現在、職場体験学習の5日間受入可能な事業所が少ないことです。

各学校ではそれぞれの可能な日数で職場体験学習を実施していますが、5日間実施に向けて取り組むほとんどの学校が、受入事業所が少ないことに悩んでいます。

IV 受入事業所の募集について

1 曾於市内の事業所（企業、商店や農家等の個人事業、市役所を始めとする公共機関や各種団体等）で受入可能先を募ります。

5日間の受入が一番望ましいかたちですが、2日～4日の受入をしてくださる事業所も募っています。



< 5日間実施の組合せの例 >

A事業所（3日受入） + B事業所（2日受入）

※受入事業所は5日間の受入プログラムを必ず作る必要はありません。

単調な仕事でも継続することに価値があり、キャリア教育の意義に結びつきます。

2 体験学習の業務内容は中学生として危険を伴わないものです。

3 受入事業所にとっての効果

- (1) 事業所の社会的役割が認知され、事業所価値が高まります。
- (2) 次代を担う人材を育てるきっかけとなります。
- (3) 地域社会へ広く事業所を紹介することができます。

V 昨年度の受入事業所の感想について

とても素直な学生たちでした。初日は照れもあり、うまく挨拶も出来なかった様ですが、園長先生にも自分たちから挨拶に行く様になり何をしたらいいのかも聞けるようになってきました。積極的に自分たちから動けるといのはとても大切です。指導されたことを素直に聞き「ハイ」としっかり返事が出来るのは日頃からの生活がきちんとしているのだと思います。それぞれの夢に向かって進んでいって欲しいです。5日間お世話になり有り難うございました。（「某保育園」より）

VI キャリア教育における体験学習日程

番号	学校名	実施時期	連絡先・担当者
1	財部中	5月19～22日	0986(72)1102 瀬戸口教頭
2	財部南中	6月2～5日	0986(75)1109 竹山教頭
3	大隅中	6月4、5、8～10日	099(482)0024 笠野教頭
4	財部北中	6月10、11日	0986(74)2009 水流教頭
5	南之郷中	10月26～30日	0986(78)1014 村田教頭
6	末吉中	2月3～5日	0986(76)1126 加塩教頭
7	曾於市教育委員会学校教育課		099(482)5957 中山指導主事

御協力いただける事業所（職場）等は各中学校や市教育委員会までご連絡下さい。